

目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。**

<u>出席議員</u>	2
<u>第 1 会議録署名議員の指名</u>	4
<u>第 2 会期の決定</u>	4
<u>第 3 議案第37号 平成27年度利府町一般会計補正予算</u>	4

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS 第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

出席議員（18名）

1番	鈴木晴子	君	2番	西澤文久	君
3番	後藤哲	君	4番	小淵洋一郎	君
5番	安田知己	君	6番	木村範雄	君
7番	土村秀俊	君	8番	吉岡伸二郎	君
9番	高久時男	君	10番	鈴木忠美	君
11番	吉田裕哉	君	12番	永野涉	君
13番	及川智善	君	14番	遠藤紀子	君
15番	渡辺幹雄	君	16番	郷右近隆夫	君
17番	羽川喜富	君	18番	櫻井正人	君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長	鈴木勝雄	君
副町長	伊藤三男	君
総務課長	堀越秀一	君
政策課長	折笠浩幸	君
政策課政策班長	鎌田功紀	君
財務課長	小山田春彦	君
財務課財政経営班長	鈴木真由美	君
税務課長	高橋徳光	君
収納対策室長	石川洋志	君
町民課長	庄司幾子	君
生活安全課長	村田政文	君
保健福祉課長	菅井百合子	君
子ども支援課長	櫻井やえ子	君
都市整備課長	櫻井昭彦	君

平成28年3月臨時会会議録（3月25日金曜日分）

産業振興課長 兼農業委員会事務局長	伊藤 智 君
上下水道課長	阿部 義 弘 君
震災復興推進室長	大友 義 一 君
生涯学習課長	高橋 三喜夫 君
会計管理者兼会計室長	大友 政 一 君
教 育 長	本 明 陽 一 君
教 育 次 長	松 尾 隆 治 君
教育総務課長	小 幡 純 一 君
監査委員事務局長 兼選挙管理委員会事務局長	鈴木 正 敏 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	阿 部 善 男 君
主 任 主 査	櫻 井 涉 君
主 事	竹 内 春 菜 君

議 事 日 程 （第1日）

平成28年3月25日（金曜日） 午前10時 開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 議案第37号 平成27年度利府町一般会計補正予算

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分

○議長（櫻井正人君） 皆様、おはようございます。

ただいまから平成28年3月利府町議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は18名です。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（櫻井正人君） **日程第1、会議録署名議員の指名**を行います。

会議録署名議員は、利府町議会会議規則第110条の規定により、14番遠藤紀子君、15番渡辺幹雄君を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（櫻井正人君） **日程第2、会期の決定**を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日の1日間としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（櫻井正人君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日の1日間と決定しました。

なお、本日の日程については、お配りしてあります議事日程の順に進めてまいります。

日程第3 議案第37号 平成27年度利府町一般会計補正予算

○議長（櫻井正人君） **日程第3、議案第37号平成27年度利府町一般会計補正予算**を議題とします。

提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（鈴木勝雄君） 議員各位におかれましては、御多忙のところ御出席を賜りましてまことにありがとうございました。

それでは、本臨時会に御提案申し上げております議案1件について御説明申し上げます。

議案第37号平成27年度利府町一般会計補正予算でございますが、第1条につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に7,222万円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を158億4,508万6,000円とするものでございます。今回の補正予算につきましては、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策として国が創設した地方創生加速化交付金事業の交付申請をしておりましたが、

このたび国から内示があり、これに基づき予算を編成いたしまして、繰り越しの手続を行うものでございます。

2ページをお開き願いたいと思います。

まず、歳入でございますが、15款2項国庫補助金につきましては、地方創生加速化交付金の内示額に合わせて計上するものでございます。

19款2項基金繰入金につきましては、一部交付対象外となる項目への財源措置として、財政調整基金からの繰り入れを計上するものでございます。

次に、歳出でございますが、この交付金を活用して実施する利府駅前広場でのコラボレーションプランナー創出事業に要する経費を計上するものでございます。

次に、3ページをお開き願いたいと思います。

第2表繰越明許費の補正につきましては、この事業について、国の指示により翌年度に繰り越すものでございます。

慎重審議賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明を終わります。

○議長（櫻井正人君） 提案理由の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。11番 吉田裕哉君。

○11番（吉田裕哉君） それでは、まず5ページの歳出でお尋ねいたします。

駅前にプランナー創出支援事業ということで委託料から、その以下ございますが、プランナー創出支援はわかるんですが、その下のスタジオのほうの実施設計と設置工事ということで計上されております。まず、駅前にスタジオを設置するという点について、どのような協議を経て、会議の中で経て決まったのか、総合戦略策定の中でどういった話し合いでこの取り組みをすることに決めたのかをまずお尋ねしたいなと思います。

コワーキングスペースということにもなるというスタジオの正確な立地と面積、規模、大きさ等お尋ねいたします。

最後に、スタジオでセミナーやイベントを行うということはわかるんですけども、それとともに、コワーキングスペースとして何かしら利用していただくという取り組みは頑張っていたきたいところなんですけども、具体的にどの程度どのような利用が見込まれるのか、需要をどこまである程度把握されて今回こうやって取り組むことにしたのか、その辺をお尋ねいたします。

○議長（櫻井正人君） 当局、答弁願います。政策班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） それでは、11番 吉田議員の御質問にお答えいたします。

まず、駅前にそういった施設を整備していくことが決まった過程ということでございますけれども、これにつきましては、国の交付金の申請期間、極めてタイトな時間でございました。本来であれば、一般町民等もまぜて協議して企画立案していくということも必要ではなかったかと思うんですけれども、当然2週間ぐらいの限られた時間の中でということでしたので、職員の中で、若手職員、政策調整員会議という組織がございますけれども、そういったメンバー、あるいは多くの若手職員を募りまして、役場の中でもワークショップですとかそういったことで議論を重ねております。そのほか、こちらのほうの知恵をおかりするために、例えば宮城大学の先生であったり、そういった事業を实践されている方々、NPOさんですとかそういった実践者の意見などもお聞きしたような形でこの計画を練り上げてきたということでございます。そういう協議過程の中で、利府町の今の利点、強味ということを考えますと、グランディ等にお越しいただくお客さん、年間120万人を超えているということで、そういった方々をターゲットにした取り組みをできないものかということ考えた場合に、やはり駅前ということであればお客さんにも目につきますし、町の用地も今眠っている土地があるということで、そちらのほうを活用してみてもどうかというようなことになりました。それで申請に至ったというようなことでございます。

面積、規模でございますけれども、これにつきましては、駅前の広場がありますけれども、それを全面使うことではなくて、前に全協でも御説明したとおり、ユニットハウスと言われるようなもの、大きさについてはこれから検討してまいりますけれども、りふレ横丁の並びからL字型に、東側から西側のほう、今フェンスがありますけれども、そちらの歩道沿いにそういったユニットハウスを設置するということでございますので、長さ的には15メートルぐらいになるかなと思います。そういった長屋タイプのユニットハウスを設置する。奥行きは四、五メートルぐらいになるかなと思いますけれども、そういった形でございます。

コワーキングスペースの需要ということでございますけれども、これも御承知のとおり県内、この辺ですと仙台市ですとか塩竈市などでもそういったスペースが今どんどんできているというような形でございます。利府町のしからば需要がどのぐらいあるのかということになりますと、これは正直ふたをあけないとわからない部分がございます。ただ、コワーキングスペースの利点というものは、例えば1人で何かやりたいといったような方々がたくさんいらっしゃるかと思うんですけれども、例えばパソコンを使って仕事をしていく主婦であるとか、1人で何かやってみたいと思っているような方々、1人ではなかなかできないというものを、そこにみんなが集まっていろいろと話をしながら、こういう仕事であれば一緒に、その募った仲間

コラボして一緒にやれるんじゃないかというような、そういったつなぎの役目を果たしていくということで、1人ではできないけれども3人寄れば何かできるというようなイメージでございます。その辺はこれからやっていく中でいい方向に導いていければなというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（櫻井正人君） 吉田裕哉君。

○11番（吉田裕哉君） ぜひ頑張ってくださいと思いますが、1点、立地が利府駅前ということで、今遊休地となっている土地開発基金の場所なんですけれども、将来的に町としてはロータリーの拡充を目指していきたいというような方向性をこれまで出していたと思いますが、そこを利用することなので、これはどうするのかなど。このスタジオ、期間、32年度まで5年間だけのという位置づけで行うのか、恒久的なものとして行うのか、その辺お尋ねしたいと思います。

それとともに、周辺での渋滞対策、混雑緩和対策等はいかがお考えでしょうか、お尋ねいたします。

○議長（櫻井正人君） 政策班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） それでは、再質問にお答えいたします。

まず、駅前広場については、御承知のとおり駅前広場としての先行取得用地ということでございますので、最終的にはロータリーの拡充なども視野に入れてこれから計画していくということでございます。整備に当たって、この間の3月議会等々でもお話ししたとおり、土地再生整備計画の第2期、これが想定では平成32年あたりになるかと思っておりますけれども、それまで、そこから始まっていくという形になろうかと思っておりますが、それまでのつなぎの間そのまま眠らせておくのはもったいないということで、今回の交付金を使ってこの事業をやっていくこととなります。あくまでも恒久的な施設ということではなくて、実際に駅広のほうで整備計画が動き出すといったときには、例えば別な場所に移設をするですとか、そういったことも可能でございますので、あくまでもそれまでの間、それが4年になるか5年になるかまだ明らかではありませんけれども、そういう形でやってみるというような形でございます。

渋滞対策についてですけれども、確かに今の状況を見ますと、それに拍車をかけて渋滞を招くおそれがあるんじゃないかという御心配だと思うんですけれども、コワーキングスペース、主に日中の活動という形になろうかと思っております。ですので、朝夕の渋滞がひどいというような時間帯には恐らくかぶらないのではないかと思いますし、コワーキングスペースを御利用いた

だく方については、例えば施設の裏手の砂利の空き地のほうに駐車場を設けるだとか、あるいは駅の駐車場を御利用いただくというようなあたりも誘導していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（櫻井正人君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（櫻井正人君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

これより、本案の討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（櫻井正人君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより、議案第37号平成27年度利府町一般会計補正予算を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（櫻井正人君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成28年3月利府町議会臨時会を閉会します。

議員の皆さん、当局の皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前10時15分 閉会

上記会議の経過は、事務局長阿部善男が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

平成28年3月25日

議 長

署名議員

署名議員